



エステティック通信

ESTHETIC WIRED JAPAN | powered by 美容経済新聞



今年もやってきました!
エステ業界のプロダクト・オブ・ザ・イヤー

AWARD
2011!

www.soterh.co.jp

Soterh®



まるで、美顔器™

製造販売元 アフェクションインターナショナル株式会社 ☎ 0120-210-419

詳しくは、P21をご覧ください。



CLOSE UP NEWS



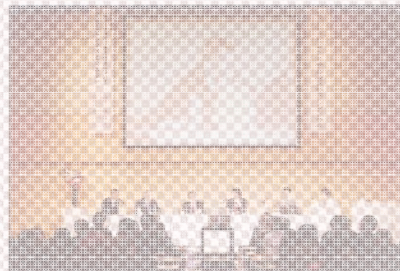
ビューティビジネス学会

ビューティビジネス学会設立ならびに記念シンポジウム開催!

エステのみならず広い意味での美容業界発展のため、業界研究を産学協同で進める【ビューティビジネス学会】が2011年11月18日設立された。美容業界と言うと専門的技術・スキルの開発・新商品開発など、比較的実務的な研究に偏重する傾向にある。この学会では外見的な「美」のみならず、精神的・健康的な「美」、生活や地域・自然環境の「美」を追求するため、学問分野との積極的な連携・学際的な交流重視し、研究者と経営者、実務家などが研究・交流・発信することにより、学問的進歩と業界発展を目指す。設立を記念して、六本木ヒルズハリウッドプラザにて設立記念シンポジウムが行われた。

はじめに基調講演として、山中祥弘氏(学校法

人メイ・ウシヤマ学園理事長、ハリウッド大学院大学教授)が「ビューティビジネス教育について」、安室薫一氏(大阪商業大学教授)が「芸術とビジネスとの出会い:シルク・ドゥ・グレイコのビジネスモデル」を講演。続いて「ビューティビジネスの過去・現在・将来」をテーマに、清生茂氏(朝ガモウ代表取締役会長)、柿本策二氏(岡本策三美容室会長)、横田敏一(朝ビューティ横田代表取締役)、野崎明氏(朝リクルートビューティワールド総研センター長)、池上重輔氏(早稲田大学准教授)によるパネルディスカッション行われた。ビューティビジネス学会では、会員を募集中、学会に関する詳しい内容・入会方法に関しては、ホームページに掲載されている。



●お問合せ
ビューティビジネス学会 設立準備委員会事務局
TEL 03-3403-3433 FAX 03-3403-3430
E-mail: jabbb@jabbb.jp http://jabbb.jp

CLOSE UP NEWS



株式会社インディバ・ジャパン

「第10回インディバ・コンベンション」開催!



(株)インディバ・ジャパンは2011年11月13日、東京・ガーデンシティ品川で「第10回インディバ・コンベンション」を開催した。このイベントは講演やデモンストレーションを通じて「インディバ CRet System(以下インディバ)」の有効性、有用

性を伝えるもので、今年はエステ、メディカル分野から約350名が参加した。冒頭、同社山口祐司会長の挨拶から始まり、続く講演では、白壁征夫氏(サフォッククリニック院長)が「インディバ」はセルライト、皮下脂肪、腹直筋、内臓脂肪のすべてに使用でき、皮膚や脂肪膜層から皮下脂肪や中性脂肪、筋肉層にまで作用して脂肪燃焼経路改善や内臓、筋肉への栄養補給が可能」と、有用性の広さを説明。また「世界で一番受けたい授業」でもおなじみ小林弘幸氏(順天堂大学附属順天堂病院)は、スポーツ・鍼灸分野で展開している「インディバ・アクティブ」と自律神経機能について「副交感神経機能は加齢で低下する」と述べ、自律神経バランスの崩れがアンチエイジングにも影響

すると指摘。対して血流量を上げると副交感神経機能がアップすると「インディバ」の働きに言及した。阿部博幸氏(九段クリニック理事長)は、今年発足した「日本RF 温熱療法協会」について講演。「各医療、スポーツ、美容など幅広い分野での有用性について海外との情報交換も行いながら、医療とQOL 向上に貢献したい」と説明、将来的に教育セミナーや認定制度も取り入れたいとの方針も明らかにした。昨年好評だった場内デモンストレーションも3施設の協力を得て行われ、多くの人が集まり盛況のうちに幕を閉じた。

●お問合せ
株式会社インディバ・ジャパン 担当: 広報室 宮川
TEL 03-5768-8871 FAX: 03-5768-8872
E-mail: indiba@symphony.plala.or.jp

あなたのサロンに、お悩みのお客様はいらっしゃいませんか?

提携サロン募集中!

胸の相談

相談

詳しくは4P5頁をご覧ください

おへい
今までにない! 定着率90% 胸の相談 はじめました

安全で自然な胸なのに
驚きの定着率!

バッグとは違う! しかも、コンデンスリッチ法をさらに超えた

脂肪幹細胞注入豊胸術

「脂肪幹細胞」培養移植法

①バッグとは違い、脂肪注入法は手術を伴わずに自然な胸を作る。注入した脂肪の定着率が大きな特徴でした。そこで、従来の脂肪液注入(コンデンスリッチ法)がもたらしたような脂肪を解決!

②そのままだと注入した脂肪は吸収され、定着するのは約30%程度であり、高値に達してはほとんど吸収されてしまいます。注入した脂肪が自己化を働き、しっかりと見ることが出来る状態を模した部分が、乳がん検診でマシネグラフィック検査などで検出するための乳がんとの線画が困難になる。

この「脂肪幹細胞」注入法は、

脂肪幹細胞を体外で培養し、

注入した脂肪が自己化を働き、

しっかりと見ることが出来る